

動物園からこんにちは

札幌市立伏見中学校

第2学年理科資料

こんにちは。円山動物園の「幅崎」です。午後の放飼場は、動物たちの糞尿で汚れています。私たちのようにトイレに行く様子もありませんし、使用後に流すこともありません。でも、糞をする場所を決めている動物もいます。今回は、いつもきれいなマレーバクの放飼場の不思議です。

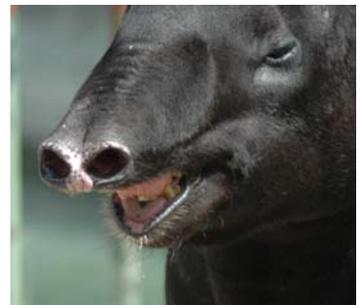


ちょっと大きめの写真は、マレーバクの放飼場全体を確認するためです。時刻は 12 時頃ですのですでに 3 時間以上この場所にマレーバクは、いたはずですが、しかし、やけにきれいだと思いませんか。

マレーバクは、東南アジアの熱帯雨林にすみ、母子以外は単独で生活する夜行性の動物です。同じフィールドにはトラやヒョウが生息しているので彼らの目を避けながら広い範囲を移動する草食動物です。特徴のあるのは、足で、ひづめは前足が4つ、後ろ足が3つで、水辺のぬかるみで踏ん張れるようにひづめがひら



いています。鼻先は上唇とつながって草や枝葉をたぐり寄せることができますし、泳ぐときにはシュノーケルのようにも



ぐったまま息つきをすることもできます。



さて、ここで放飼場のプールに目を向けて見ましょう。実はここだけが汚れているのです。彼らは水中で糞をすることが多いのです。まるで水洗トイレですね。また、その糞には、未消化の草がたくさん含まれていることに気づきましたか。熱帯動物館草食動物ゾーンの動物たちの糞を比べてみると、同じえさから全然違う糞をすることがわかります。そして、からだのつくりを調べてみると、納得できる自由研究ができるとおもいますよ。(奇蹄目バク科)

宿題テキストで質問があったら？

勇気を持って、園のスタッフやガイドボランティアに「質問」してください。

最も大切なことは、観察した事実を正確に記録することです。特に【観察】とあるところは答えを聞かずに自分の目で確かめて記録してください。スケッチに加え、デジカメなどを活用してもかまいません。ただ、デジカメはシャッターチャンス逃すこともあるので過信は禁物です。

『調べよう』は、動物科学館や図書館の資料を活用しましょう。相手が生き物ですので、答えはひとつではありません。人の答えを写すのではなく、なぜなのか理由を考えながら取り組みましょう。

「学びたい」という気持ちをもって動物園に行っていますか。テキストを片手に持った中学生は、熱心に鋭い質問をするのでボランティアや園のスタッフも真剣に対応してくれています。すばらしいレポートを期待しています。では、また。